

新田博氏の『言葉の新田：一つの文学饗宴』から

## 『人生という旅路』

～生涯学習についての考え～

一部の旅は些細なもので、  
完了するのに数日しかかかりません。

このような旅はクレジットで支払い、  
簡単に予約できます。

他の旅は異なり、  
決まった旅程がありません。

事前予約は不可能であり、  
すべての危険を予見できるわけではありません。

発見の旅は、  
我々が取る唯一の本当の遠足です。

チャンスを逃がさないように  
前進し続けてください！

- T Newfields (和訳: 光久智美と樋谷メリサとテレサ)  
開始: 1980 ポートエンジェルズ、ワシントン州 ★ 完成: 2020年 横浜市





- 百合:** 愚かに見えるのを承知の上で、大胆な質問をさせてください。私たちの航海がいつ終わるのかを、どのように知りますか？
- レック:** (ふざけて) 鈍感のように聞こえるだろうが、間接的な答えをここに挙げます。自分自身がわかった時、どこから始めますか？
- ロン:** アー! : その点に戻るのはやめましょう。
- リンダ:** (その会話を無視して) 私たちの文化は、知識ばかりに集中しているのではないのでしょうか。知識とは大抵脆いものです。それに、確かに私たちが扱うことができる情報量には限りがあります。
- ロン:** (大きなゲップをして) 情報は、誤認識も起こします。
- レックス:** 怪しげなアフロインディアンのアクセントで) それに知恵も、それは、価値があるものだと思います。